第十二回・中国の大学生『日本語作文コンクール』

「中国の大学生」発 日本語メッセージ

―応募作文・９８大学・３３６０編から上位４６編―

大森和夫・弘子（国際交流研究所）編著

ISBN 4-931490-96-4

中国の大学で日本語を勉強している学生が増え続けています。日本語学習を始める「きっかけ」は何だったのか、彼らにとって「日本語とは何か」、日本と日本人にどのような思いを抱いているのか――国際交流研究所は、「日本語学習と私」をテーマに、「第十二回・中国の大学生『日本語作文コンクール』」（対象・大学二、三年生）を実施しました。

九十八大学から三三六〇編の作文が日本に送られて来ました。これまで十二回行った「日本語作文コンクール」で、最も多い応募数と多岐にわたる内容の豊かさに驚かされました。

本書では、その中から「一、二、三等賞」に選ばれた四十六編の作文を収録しました。

中国では、自分の意志や希望に反して、大学入試の点数によって、日本語を学ぶことになった学生が少なくありません。また、日中間には、「歴史認識」の壁があります。そうした環境の中で日本語を学ぶ中国の大学生の心は複雑です。

本書の作文には、中国の若者の〝喜怒哀楽〟と、普段の素顔、感情が溢れています。

日本人として教えられることが多い「日本への熱いメッセージ」です。

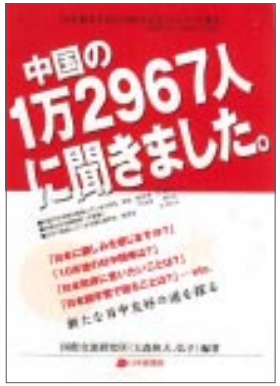
大森和夫・弘子

袁俊英（河南大学）
尹聖愛（哈尔濱工業大学）
韓韋博（上海理工大学）
李秀（遼寧師範大学）
韓志暉（厦門大学）
楊琳（洛陽外国語学院）
孫小玲（華東師範大学）
申竹青（西安外国語学院）
于韶華（湖南大学）
楊暁瑛（上海交通大学）
鄭楠（吉林大学）
周樺薇（南京師範大学）
柳蓮玉（哈尔濱工業大学）
張志銅（遼寧師範大学）
洪蓮（大連民族学院）
丁盈（同済大学）
王国培（西安交通大学）
白猛（北京大学）
梁爽（大連外国語学院）
金英淑（遼寧大学）
王娜（西安外国語学院）
範可旭（煙台師範学院）
王鋭（東北財経大学）
武元（南開大学）
潘婕（吉林師範大学）
王玉洁（内蒙古大学）
金春香（河南科技大学）
張俊輝（延辺大学）
李慧芳（山東師範大学）
朱慧芳（河南師範大学）
沈鳴雷（北京第二外国語学院）
彭志芳（武漢大学）
徐洪国（山東大学威海分校）
駱燕（西南交通大学）
李海莹（哈尔濱理工大学）
張亮（遼寧師範大学）
周嵘（寧波大学）
何文娟（西安外国語学院）
严立君（中国海洋大学）
温頴（山東大学）
周宇（上海外国語大学）
崔福実（湖南師範大学）
劉志（中南大学）
趙竹（首都師範大学）
謝好（中山大学）
欧陽志華（広西大学）

編著者略歴

大森和夫　１９４０年生まれ。早稲田大学第一政治経済学部政治学科卒業。朝日新聞記者（政治部）を経て、1989年１月、国際交流研究所を設立。国際交流研究所所長。1996年から中国・上海朝日文化商務培訓中心理事長。

大森弘子　１９４０年生まれ。京都女子短期大学家政学部卒業。日本語教材「日本」編集長。



関連著書
中国の1万2967人に聞きました。

注文票

注文FAX 048-432-7335

氏名：	住所：	電話： fax：
	〒	

四六判 182頁　注文数　部
定価：本体1600円+税

2004年12月5日発行

日本僑報社刊行した主な書籍
『中国のインターネットにおける対日言論分析』
『日中「新思考」とは何か』
『中日関係に対する戦略的新思考』
『「対日新思考」論議の批判的検討』
『中国人特派員が書いた日本』
『永遠の隣人 -- 人民日報に見る日本人』
『日中相互理解とメディアの役割』
『日中ホンネで大討論！』
『中国人の見た日本』
『日本華僑華人社会の変遷』
『中国人の日本奮闘記』
『中国の「対日新思考」は実現できるか』
『私が出会った日本兵』
『つくる会の歴史教科書を斬る』
『新中国に貢献した日本人たち』